



for a living planet



Oxfam
International

2009年9月16日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫 殿

オックスファム・インターナショナルおよびWWFインターナショナルを代表して、私たちは、鳩山代表のリーダーシップの下、今回の選挙で民主党が歴史的な勝利を収めたことをお祝い申し上げます。同時に、民主党が日本の優先課題として示した諸問題への取り組みを開始したことにつきまして、鳩山総理と新政権のご成功を祈念申し上げます。

気候変動対策を貴政権の最重要課題の1つとされたことに感謝を申し上げますと同時に、そのリーダーシップに敬意を表します。新政権が温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減する意思を、選挙後に改めて示されたことは、多くの政府、市民社会、科学者、そして危険な気候変動を回避しようとする全ての人々から大変歓迎されています。私たちは、先進国全体が2020年までに排出量を1990年比で40%削減することを求めており、貴政権がこの25%目標を国内で達成することを要請します。また、国際支援をこの目標に追加することは可能だと考えます。

貴政権が、公式・非公式に、変化を好まない旧来型の産業界からの大変な圧力を受けていることは存じ上げています。日本は、世界をイノベーションによってリードしてきた誇るべき経歴を持っています。キャップ&トレード型の排出量取引制度、全ての再生可能エネルギーを対象とした固定価格買取制度、そして炭素税が産業を刺激し、新しい製品や技術を20世紀の高度成長期以来の規模で生み出すことは確実です。鳩山総理と同様に、私たちもまた、現状維持と決別することによって、日本経済と日本国民が経済的な便益を得られると信じています。私たちは、貴政権の2020年目標を、環境そして経済双方にとって堅実なものとして公式に支持できることを、嬉しく、また光栄に思います。

コペンハーゲンを目前に控えたこの最後の数ヶ月間の中で、コペンハーゲンにおける公平で、野心的でかつ法的拘束力を持った合意成立へ向けた流れを作り出すために、日本が中心的な役割を果たすことができるまたとない機会が存在します。

9月22日の国連総会および国連事務総長によるハイレベル協議に鳩山総理が出席されることを嬉しく思います。先進国および途上国双方へ向けて、日本がリーダーシップを発揮する重要な機会となるでしょう。この極めて重要な会合にお

ける鳩山総理の力強いリーダーシップが、コペンハーゲンでの交渉へ向けた大きな流れを正しい方向で作っていくために重要です。

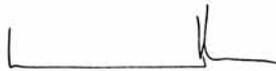
ピッツバーグでの G20 は、コペンハーゲンでの公平で野心的かつ法的拘束力を持つ条約締結へ向けての重要なステップとなる会議です。そこでは、途上国における適応および緩和のための資金メカニズムのパッケージに合意するためのプロセスを開始することが必要です。

資金の規模は、途上国における適応や緩和の取り組みについて、少なくとも年間 1600 億ドルであるべきです。この数字は、世界銀行、国連気候変動枠組条約事務局、欧州委員会、オックスファムおよび他の機関による国際的な検討における既存の試算から考えても妥当な水準です。

コペンハーゲンへ向けての交渉の進展が遅々としている中、まず日本が模範となり、また、建設的な議論によってコペンハーゲンの合意に必要な要素を築き上げ、進展を妨げている国々を喚起するよう、他国に働き掛けることによって、日本が今回の一連の会合でリーダーシップを発揮することを期待します。

最後に、このような機会は今もはや二度となく、その重要性は強調してもしきれないということを、他の諸国にもぜひ伝えて下さるようお願い申し上げます。

重ねて、今後のご活躍をお祈り申し上げます。



Jeremy Hobbs
Executive Director
Oxfam International

ジェレミー・ホブbs
オックスファム・インターナショナル
事務局長



James P. Leape
Director General
WWF International

ジェームス・P・リープ
WWF インターナショナル
事務局長

日本での本レターに関する連絡先：

(特活) オックスファム・ジャパン アドボカシー・マネージャー 山田太雲
東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2階 TEL: 03-3834-1556 FAX: 03-3834-1025

WWF ジャパン 自然保護室気候変動プログラムリーダー 山岸尚之
東京都港区芝 3-1-14 日本生命赤羽橋ビル 6F TEL: 03-3769-3509 FAX: 03-3769-1717